

ちよっふの教育

No.88
3/20

発行 調布市教育委員会 編集 教育部教育総務課 (刊行物番号 2023-169)
調布市ホームページ <https://www.city.chofu.lg.jp/>

調布市立図書館
公式キャラクター じろ



令和6年(2024)

楽器寄附ふるさと納税

調布市では、令和5年7月から「楽器寄附ふるさと納税」を開始しました。

この制度は、既存のふるさと納税の枠組みを活用して、寄附楽器の査定額が控除対象となる制度です。使用されなくなった楽器の寄附を募り、中学校における部活動、音楽の授業で活用させていただきます。返礼品を伴わないため、市民の方の御寄附も可能です。

令和6年2月末までに、14台の楽器の御寄附をいただきました。寄附していただいた楽器は、調布市立中学校の吹奏楽部で大切に使用させていただきます。また、いただいた応援メッセージは、生徒たちの励みとなっています。

寄附者の方には、生徒たちからの感謝状の送付や演奏会への御招待などで、感謝の気持ちをお届けしています。

調布市立第五中学校で行われたクリスマスコンサートには、寄附者の方をお招きし、生徒代表から直接感謝の言葉をお伝えしました。また、御寄附いただいた楽器を使用した演奏も楽しんでいただきました。

これからも生徒たちに笑顔をお届けられるよう、楽器寄附ふるさと納税に御協力をお願いします。

楽器をご寄附いただける方は、下記に記載の「楽器寄附ふるさと納税 web サイト」からお申込をお願いします。

【生徒たちの喜びの声】

- ・新たな楽器が増えて、希望の楽器にチャレンジできるようになりました。
- ・演奏の幅が広がり、諦めていた曲に挑戦することができます。
- ・楽器がとても綺麗で、大切に使用してもらったことが伝わりました。私たちが大切に使い、後輩へ引き継ぎたいです。
- ・寄附者の想いを感じながら部活動に励み、演奏会などで恩返しをしたいです。



◆楽器寄附ふるさと納税 web サイト
<http://www.gakki-kifu.jp>



◆調布市ホームページ
「ふるさと納税(寄附)の概要」



問合せ/教育総務課 ☎481-7144

令和6年度から北ノ台小学校に特別支援学級(知的固定)を新設します

調布市では令和6年4月に、新たな特別支援学級「たんぼぼ学級」を北ノ台小学校(深大寺北町2-41-1)に開設します。特別支援学級設置校は、市内で10校目(小学校7校、中学校3校)となります。

なお、通学区域については、現在の八雲台小学校特別支援学級「わかあゆ学級」の学区を南北に2つに分け、北部地域を北ノ台小学校特別支援学級の通学区域とします。



問合せ/学務課 ☎481-7473・7474



特別支援学級の通学区域



市立小・中学校給食費を無償化します

保護者の経済的負担の軽減と、児童・生徒の健康増進を図るための学校給食を安定的に提供し、更なる食育の推進を図る観点から、令和6年度は東京都の補助事業を活用し、市立小・中学校の学校給食費を全額公費で負担する予定です。

※令和6年第1回調布市議会定例会の議決をもって決定されます

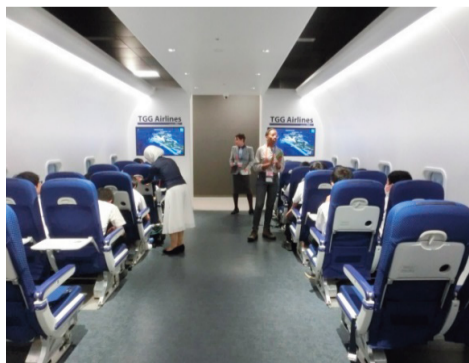


問合せ/学務課 ☎481-7476

TGG (TOKYO GLOBAL GATEWAY) GREEN SPRINGS による体験活動報告

今年度から英語の4技能のうち「話すこと」「聞くこと」の向上を図ることを目的とし、体験型英語学習施設 TGG (TOKYO GLOBAL GATEWAY) GREEN SPRINGS で、調布市立中学校2年生を対象に英語体験活動を実施しています。

生徒たちは、海外生活の疑似体験をはじめ、イングリッシュスピーカーとの交流や英語でのやり取りを通じて、異文化を理解するとともに、英語によるコミュニケーションの楽しさを実感することで、国際感覚を育む貴重な経験を積むことができました。



TGG (TOKYO GLOBAL GATEWAY) GREEN SPRINGSの詳細は、以下公式ホームページからご覧いただけます。
【URL】 <https://tokyo-global-gateway.com/>



問合せ/指導室 ☎481-7480

大谷翔平選手からの寄贈

アメリカ大リーグの大谷翔平選手から調布市立小学校20校へグローブの寄贈をいただきました。

大谷選手のお気持ちを大切に、各学校の状況に応じて活用してまいります。



問合せ/指導室 ☎481-7480

令和5年度

調布市教育委員会表彰

令和6年2月20日(火)に調布市文化会館たづくり12階 大会議場で、スポーツ・文化活動等において、他の模範となる顕著な活動をした児童・生徒等を表彰しました。

今回は、令和5年度分43件、令和4年度分1件の表彰を行い、教育長・教育委員から受賞者一人一人へ表彰状を授与しました。



受賞者代表の言葉

第五中学校第3学年 齋藤小春さん

(下校中、倒れて歩けなくなっていた女性を救助/「教育上特に推奨に価する善行のあったもの」による表彰)
※写真は、当日欠席された齋藤小春さんに代わり、代読された井川優菜さん

私たちは、道端で困っている人を助けました。その時はこの行動でこのように表彰されるとは少しも思っていませんでした。助けた方からお礼をいただく形となり、このように表彰いただいたことを、光栄に思うと同時に、少し戸惑いを感じています。



学校でも、AEDを使ったロールプレイ訓練などを行っていますが、いざ、目の前に動けなくなっている人を見ると、冷静に判断することが難しいと思います。今回は仲間がいてくれたおかげで、協力し合い、対応することができました。この経験を生かし、今後また同じ場面に遭遇した時に、自ら動ける判断力と行動力を身につけたいと思います。

私たちは、これからより多くの力をつけ、より多くの人を助けることができます。これからも、困っている人に手を差し伸べられるような人間でありたいと思います。

本日、教育委員会から表彰いただいたこと、私たちが助けた方にも、改めて感謝の言葉を述べさせていただきます。あいつつとさせていただきます。本日はありがとうございました。

被表彰者一覧

(令和6年2月20日時点)

表彰理由等、詳細は市ホームページ(QRコードからアクセス可)をご確認ください。



- 教育上特に推奨に価する善行のあったもの
 - 井川 優菜・宇田川 美穂・齋藤 小春・澤田 悠花・杉本 千幸・阿久津 琳久・河村 彪真・今野 穂久斗(第五中)
 - 有益な調査・研究をしたもの
 - 松本 礼愛(調布中)
 - 石山 稟恩(第六中)
 - 永岡 桃花(第六中)(過年度)
 - 池田 希々香(第五中)
 - スポーツにおける活躍
 - 齊藤 福(第一小)
 - 齊藤 誉(第一小)
 - 富樫 心桜(第三小)
 - 井村 紀満(八雲台小)
 - 関 誠人(富士見台小)
 - 福田 彩菜・立田 礼愛・濱川 琉衣(深大寺小・染地小・調和小)
- 宮本 龍・小林 慶都(北ノ台小・柏野小)
- 大河原 武蔵(飛田給小)
- 石崎 美陽(布田小)
- 酒井 玲菜・宮本 青璃(第三中)
- 杉本 貫太郎・石坂 太樹・南畑 遥輝・大山 開地(第三中・第六中)
- 井上 怜美・間部 心結(第三中)
- 藤原 虎太郎(第五中)
- 竹之内 来輝(第六中)
- 小林 兼輔(第七中)
- HC調布ジュニアユース(第三中・第四中・第六中・第七中)
- 女子卓球部(第五中)
- 男子卓球部(第五中)
- 井村 健路(八雲台小)
- 久保 佑生・高野 伊織・磯上 大河・佐々木 善(神代中)
- 荘司 龍玖(第三中)
- 富樫 奨(第五中)
- 門前 匠(第七中)
- 齊藤 巧将(調布中)
- 橋本 絆生(神代中)
- 磯邊 健太(第六中)
- 長沼 一汰(第七中)
- migrant junior女子チーム(第六中・第八中)
- migrant junior男子チーム(第六中)
- 文化活動における活躍
 - 五十嵐 麗衣(八雲台小)
 - 黒川 奏翔(北ノ台小)
 - 宮本 武虎(多摩川小)
 - 在國寺 晴太(飛田給小)
 - 岡賀 皓大(柏野小)
 - 齊藤 康太郎(第三中)
 - 韓 櫻綺(第五中)
 - 隠田 悠人(第七中)
 - 吹奏楽部(第三中)
 - 依田 聡一郎(深大寺小)



問合せ/教育総務課 ☎481-7465

より良い図書館を目指して

施設整備に向けた基本的な考え方

- 1 利用者のニーズに応える図書館
多様な利用者層・ニーズの把握と施設整備への反映
- 2 読書・調査活動への支援
静かに読書できるスペース、幅広い資料の提供・展示が可能な書架整備
- 3 乳幼児・児童・青少年サービスの利用促進
対象年齢や世代別ニーズに合わせた資料提供スペースの設置
- 4 ICTを活用したサービスの提供
ICタグシステムの導入、デジタル資料の提供など
- 5 居場所としての図書館
会話できるスペース、多目的な利用に対応可能な設計など
- 6 持続可能な図書館
バリアフリー、省エネルギー対応、レイアウト変更可能な設計など



調布市立図書館は、中央図書館をはじめ、10の分館があります。分館は整備から50年近く経過し、建て替えの時期を迎えている館が多くあります。今後も一層、市民のみならず愛される図書館をつくるため、施設整備に向けた基本的な考え方を整理しました。

公立図書館初!!! 映画資料「JFROL」に連携へ

調布市立図書館の映画資料の所蔵情報が「映画資料所在地情報検索システム(JFROL)」で検索できるようになりました。

JFROLとは、映画のシナリオやポスター等の資料の所在地(所蔵館)を横断的に検索できるシステムです。東映太秦映画村・映画図書館や松竹大谷図書館など5館の所蔵館に、令和6年2月から公立図書館では初めて調布市立図書館が加わりました。



問合せ/図書館 ☎441-6181

教育随想 きょういくずいそう

校長先生に日ごろ感じている思いを聞きました。

子供の笑顔とともに

石原小学校長
いじま よしひろ
飯島 義裕



気が付けば、教員になって36年がたちました。昔、あるアニメで「教師生活25年、…」というセリフがありましたが、その年数を超えて仕事が続けられたのも、保護者や地域の皆様、教職員の仲間、そして子供たちの笑顔に支えられたおかげです。今までの経験を生かし、石原小学校にいるすべての子供たちの命・安全を守ることを第一優先に考え、学校教育を行っています。子供たちの笑顔を見るために、尽力してまいります。

杉森に感謝

杉森小学校長
しみず つかさ
清水 吏



本校に着任して5年。未熟な私を支えてくださったのは、保護者、地域の皆様でした。20年以上前に教員として本校に勤務したことがあり、保護者として当時の教え子と再会したり、当時の保護者の方が学校ボランティアとして活躍して下さったりして、心強く思いました。担任として、校長として勤めた杉森小学校を、私は生涯忘れることはありません。明るく子供たち、真剣に勤務し続ける教職員、温かく見守り協力的な保護者、地域の皆様を支えられて、充実した時間を過ごすことができ、感謝の気持ちで一杯です。

すべての出会いに感謝

深大寺小学校長
はままつ あきひろ
濱松 章洋



平成元年のちょうふの教育NO.14に、「こんなに楽しいのに給料までもらえて、なんと幸せなことか」と書いた担任当時の私の文章と、満面の笑みの子供と一緒に撮った写真が載っています。あれから35年。私にとって出逢った子供の数は命の数であり心の数です。そして、夢の数・笑顔の数・希望の数です。だから、出逢ったすべての子どもたちを応援しています。今までも。今も。そして、これからも。ずっと、ずっと。

進み続けること

多摩川小学校長
うえすぎ じゅん
上杉 潤



「今のままでいいと考えることは、退化である」とは、恩師からの教えです。新しいことに挑戦しようとしても、その通りにいかないことが多くあります。振り返ると、私の教員生活には、支えてくださる人がいました。だから、その課題を解決する過程は、とても楽しいものでした。支えてくださった皆様には、本当に感謝しています。そして、いつか私も誰かのための支えになる存在になりたいと思っています。正解が一つではない世の中だからこそ、立ち止まらずに進むことを意識して、これからも学校教育に携わっていきたくと考えています。

しなやかに強く

神代中学校長
いくの 生野まゆみ



調布市に着任し15年が経ちました。これまで調布中学校、第五中学校、第四中学校、神代中学校の4校に勤務しました。この間、東日本大震災、新型コロナウイルス感染症の流行、教育ICT環境の技術革新等、大きな出来事がいくつも 있었습니다。予測困難な社会ですが、その時々状況を受け止め、「しなやかに強く(柔軟に対応し、果敢にチャレンジする姿勢)」をモットーに、日々過ごしています。

学校の周年記念式典を実施しました

若葉小学校

開校60周年

60周年記念キャラクター
「わかばちゃん・あおばちゃん」



若葉小学校は60周年を迎えました。航空写真撮影やバルーンリリース記念集会等の取組を通し、全校で周年を祝う気持ちを高めていきました。体育館壁面が各学級の共同作品で彩られる中、10月19日に記念式典を実施しました。参列した5・6年生が、校歌を作詞作曲された方の御息女と一緒に地域への感謝を込めて校歌を歌い上げ、感動的な式典となりました。



滝坂小学校

開校150周年

150周年記念キャラクター
「タキショーくん」



開校150周年を迎えた滝坂小学校は、「いつまでも滝坂スマイルつないで150」をスローガンに、多くの地域の方々に支えられながら、11月2日に記念式典を実施することができました。6年生が自作の記念歌「未来へ歩みだそう」を披露した式典、全校で楽しんだ記念集会、心のこもった記念誌、記念品。「滝坂スマイル」にあふれる150周年となりました。



深大寺小学校

開校150周年

150周年記念キャラクター
「みにだるま」



深大寺小学校は開校150周年を迎えました。10月23日には、5・6年生が参列し（他学年はオンライン視聴）、記念式典を実施しました。5・6年生は、真摯な態度で式に臨み、愛校心を深めるとともに、記念発表を通して、地域の方へ感謝の気持ちを伝えました。全校児童に、調布市と地域の皆様からの記念品が贈られ、子供たちは大喜びでした。



公民館で楽しく面白く体験できる!青少年向け教室等を実施中

東部・西部・北部の3つの公民館では、乳幼児から高齢者まで幅広い世代が参加し、学ぶことができる様々な事業を実施しています。中でも、青少年対象の事業では、各館バラエティーに富んだ内容で、学校では経験できないような体験型の事業を実施しています。市報や各館で毎月発行している公民館だよりで参加募集を随時掲載していますので、ぜひご参加ください。



親子工作教室(北部公民館)

令和5年度の青少年対象事業一覧(3例抜粋)

	事業名	実施期間
東部公民館	東部ジュニア教室 (科学あそび DNA & 電池のヒミツを知ろう)	7月~8月
	東部ジュニア教室(思考力を高める子どもの囲碁教室)	8月
西部公民館	地域連携事業 (お助け!桐朋女子高校生と一緒に宿題しよう)	8月
	子ども体験教室(工作、手話、科学実験)	年間
	親子自然観察会(いきもの観察と竹のけん玉づくり)	8月23日
北部公民館	子ども科学教室(磁石についてのいろいろな実験)	12月~3月
	子ども陶芸教室(粘土でつくる自分の好きな動物)	7月~8月
	子ども科学教室(電気の実験カミナリカードをつくらう)	年間
	親子工作教室(親子で作るガラスのおうちの小物入れ)	7月~8月

【東部公民館】 若葉町 1-29-21 ☎ 03-3309-4505
 【西部公民館】 上石原 3-21-6 ☎ 042-484-2531
 【北部公民館】 柴崎 2-5-18 ☎ 042-488-2698



公民館と市内私立学校との連携の取組

公民館(東部・西部・北部)では、それぞれの地域にある私立学校とも連携して、様々な事業を行っています。

東部公民館

7月と8月に「お助け!桐朋女子高校生と一緒に宿題しよう」を開催し、夏休みの宿題など小学生が分からないところを高校生に教わりました。「小学生のクイズづくり!~大人への挑戦状~」では、桐朋女子高等学校クイズ研究会からクイズの作り方などを教わり、そのクイズを東部地域文化祭で披露し、地域の方と一緒に楽しみました。



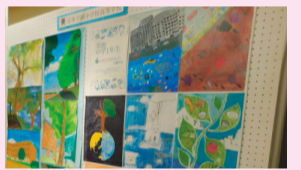
西部公民館

西部公民館の地域文化祭では、サークル活動の発表とともに、地域の団体に呼びかけ、地域のコーナーを設け、地域にある団体との連携を進めることが出来ました。昨年「明治大学付属明治高等学校」にも文化祭に参加していただき、令和5年度は、書道部及び美術部の力強い作品を展示していただきました。



北部公民館

北部公民館の地域文化祭では、近隣の学校や活動団体の作品を展示する「地域団体の展示コーナー」を実施しています。令和5年度は、晃華学園中学校高等学校の17名の生徒が、割りばしペンを使い学校敷地内の樹木を描いた絵画など17点の美術作品を出展しました。



北部地域文化祭(北の杜わくわくまつり)ポニー乗馬体験

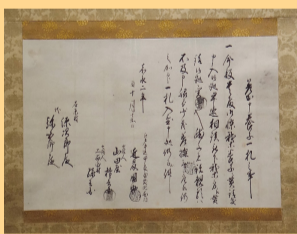
北部地域文化祭期間中の10月29日(日)、「北の杜わくわくまつり」のイベントで、隣接する上ノ原公園内でポニーふれあい広場を開催しました。前日の雨も上がり、小学校6年生までの児童を対象にしたポニー乗馬体験では、乗馬体験コースの土もとても良い状態の中、4頭のポニーが子ども達を乗せて体験コースを一周しました。参加した子どもたちは、1m以上の高さがあるポニーの背中中でドキドキしながら笑顔で乗馬体験を楽しんでいました。当日は子どもから大人まで563人の来場がありましたが、順番待ちの時間も少なく、また、手でニンジンの餌をあげるコーナーもあり、ポニーとのふれあいを皆で楽しみました。乗馬体験した子ども達からは「ポニーには牧場でしか乗ったことがなかったけど、近くの上ノ原公園で乗ることができてうれしかった。」「思ったよりも、ポニーが大きくて少し緊張しました。でも、とっても楽しかった。」などの声が聞かれました。



問合せ/北部公民館 ☎488-2698

『調布の文化財』市指定文化財・近藤勇養子縁組状

新選組局長として知られる近藤勇は、天保5年(1834)、武州多摩郡上石原村(現調布市野水)の富農、宮川源次郎(久次郎)の三男として生まれました。幼名は勝五郎といます。14歳の時、多摩地域に出稽古に来ていた天然理心流3代目近藤周助に入門すると、その才能を見込まれ、嘉永2年(1849)に、近藤周助の養子となり、26歳の時、正式に天然理心流4代目を継ぎました。文久3年(1863)、土方歳三など道場の門人らとともに京に上ると、後に新選組を結成し、京都市中の治安維持に努め、池田屋事件などで功を立てました。



近藤勇養子縁組状

この書状は、嘉永2年10月19日に、近藤周助が勝五郎の父源次郎に宛てた養子縁組状です。上石原村の農家で生まれ育った近藤勇は、この養子縁組により、百姓身分から武士となりました。本状は、農民出身の近藤勇が天然理心流4代目を継ぐことだけでなく、新選組局長として幕末動乱期において重要な役割を果たす契機となった古文書であり、歴史的価値の高いものとして、平成29年3月30日付けで市指定有形文化財(古文書)に指定されました。

問合せ/郷土博物館 ☎481-7656

出張パネル「クイズを解いて目指せ!実篤博士!」文学編

武者小路実篤記念館では、実篤の人柄や活動、作品について分かりやすくまとめたポスターサイズのパネルを作成し、貸し出しています。読書週間にあわせて学校図書館に掲示したり、授業での利用、廊下や教室での掲示など、市内小・中学校で活用されています。

今回、実篤について楽しく学べる「クイズを解いて 目指せ!実篤博士!」シリーズとして「文学編」を作成しました。一生に書いた作品数は?文学に何年間取り組んだ?詩の最後に入る言葉は?など、選択式のクイズとイラストで親しみやすい内容になっています。

施設へのパネル貸出のほか、どなたでもホームページから閲覧・印刷することができます(右のQRコードからアクセス可)。ぜひ学習にお役立てください。



問合せ/実篤記念館 ☎03-3326-0648

教育委員会の開催状況

令和5年9月から令和6年2月までに、6回の定例会と2回の臨時会が開催されました。

主な案件

- 令和5年第4回調布市議会提出案件について
- 調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館施設整備に伴う基本計画(案)及び調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館施設整備PFI事業実施方針(案)について
- 調布市不登校支援プラン(素案)に係るパブリック・コメントの実施について

問合せ/教育総務課 ☎481-7465

令和6年度以降の調布市八ヶ岳少年自然の家の指定管理者について

教育委員会では、恵まれた自然環境の中で、集団での宿泊生活とおして少年の心身の健全な育成を図るため、調布市八ヶ岳少年自然の家を設置し、指定管理者制度による管理運営をしています。

令和5年度をもって現在の指定管理期間が満了となることから、令和6年4月からの5年間における新たな施設の管理・運営を行う法人または団体を募集し、株式会社フードサービスシンワに決定しました。



問合せ/社会教育課 ☎481-7488

不登校支援の取組

調布市不登校児童・生徒への支援プラン(令和6~8年度)の策定

調布市における不登校児童・生徒支援のための施策等の成果と課題を明らかにし、その解決に向けた今後の方向性及び具体的な取組を進めるため、検討委員会を設置し議論を重ねるとともに、パブリック・コメントを実施し、市民の皆様の意見も反映しながら策定を進めています。今年度内に教育委員会として「調布市不登校児童・生徒への支援プラン」を決定します。

問合せ/指導室 ☎481-7585

適応指導教室「太陽の子」の取組

太陽の子は、調布市立小学校に在籍する4年生~6年生の児童で、心理的要因等により不登校状態又はその傾向にある児童が社会的自立に向けて学ぶための教室です。

太陽の子では、自分・友達との時間・学習の時間・グループの時間など、児童一人ひとりのペースで様々な活動を行っています。



<太陽の子が目指す姿>

- ◆きらきら光る子
子どもたち一人ひとりのきらきら光るよさを認めて励まし、自信を持てるようにします
- ◆のびのび関わる子
友達やスタッフとののびのびとした関わりをとおして、コミュニケーション能力を養います
- ◆わくわく学ぶ子
子どもたちの興味・関心に寄り添い、わくわくした学びを実現します

また、令和5年7月、イケア・ジャパン株式会社(IKEA 立川)様から、子どもたちへの支援を目的として、太陽の子に家具や雑貨等を寄附していただきました。令和5年10月に、寄附に対する感謝を表し、教育長から感謝状を贈呈しました。

太陽の子への入室に関する問合せは、指導室教育支援コーディネーターへご連絡ください。

問合せ/指導室 ☎481-7718



その他の取組

教育委員会では、さまざまな不登校児童・生徒への支援を行っています。詳細はQRコードから市ホームページをご覧ください。

問合せ/指導室 ☎481-7585



中川平一氏からの寄贈

作者は、元教員で調布の風景を描いて50余年の画家「中川平一」さんです。自転車で訪れて描いている姿をお見かけしたものの、こんなにも素晴らしい絵になって西部公民館に寄贈していただけたとは思ってもよかったです。西部公民館は今年度が開館40周年という節目の年であり、とても素晴らしい記念となりました。ありがとうございました。

問合せ/西部公民館 ☎484-2531



「西部公民館風景」

寄附の受入

多摩信用金庫から小・中学校の学校図書充実のために寄附金(10万円)をいただきました。寄附者の意向を踏まえ適切に活用して参ります。

問合せ/指導室 ☎481-7480

令和5年度東京都教育委員会表彰(健康づくり功労)

調布市の学校保健に長年御尽力をいただいた次の先生方が、下記のとおり表彰を受けられました。これまでの御活躍と御功績に敬意を表します。

個人・団体の部《学校保健・学校安全分野》

杉森小学校・国領小学校・第七中学校 学校医(耳鼻科医)

第三小学校・八雲台小学校・調布中学校 学校医(眼科医)

石原小学校・飛田給小学校・富士見台小学校 学校医(眼科医)

若葉小学校 学校歯科医

(敬称略)

小川 裕

大野 理子

古澤 信彦

矢野 章

安全かつ豊かで魅力のある給食の提供と、学校給食の意義や役割を踏まえた給食指導の実践への取組が認められ、深大寺小学校が表彰を受けました。

学校の部《学校給食分野》

(敬称略)

深大寺小学校 校長 瀧松 章洋

問合せ/学務課 ☎481-7475

【令和5年度東京都教育委員会職員表彰】

○個人表彰

被表彰者氏名	所属校	活動内容
小島大樹(指導教諭)	八雲台小学校	体育科の推進

○団体表彰

被表彰団体	活動内容
第三小学校	ICT教育の推進

問合せ/指導室 ☎481-7480

【令和5年度の文部科学大臣優秀教職員表彰】

被表彰組織	活動内容
調布市小学校教育研究会 特別支援教育部	喫緊の課題を踏まえた研究テーマを設定し、講演会や授業研究、実践発表等に取り組むことで計画的に研究活動を行い、授業改善に生かしている。

問合せ/指導室 ☎481-7480

令和6年度 調布市防災教育の日 4月27日(土) 市立小・中学校 全校一斉実施

教育委員会では、東日本大震災の教訓を風化させないため、4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」とし、自助・共助の精神を育む防災教育や防災訓練等を、全ての市立小・中学校、大町スポーツ施設で一斉に実施しています。

当日は、学校教育活動として調布消防署や防災活動に取り組んでいる講師などによる防災啓発講話や「命」の授業、避難訓練を行うとともに、市統一テーマ訓練として、市職員と地域の方による「避難所開設訓練」を体育館等で実施します。また令和6年度は、感染症の影響により中止としてきた保護者・地域の方に向けた授業公開、避難所体験(小6・中3児童・生徒及びその保護者対象)を実施予定です。※詳細は、市報ちょうふ、市ホームページ等をご確認ください。問合せ/教育総務課 ☎481-7465

●●● 教育相談のご案内 ●●●

お子さんの養育や教育について、誰に相談すればよいかとひとりで悩んでいらっしゃいませんか。お気軽にご相談ください。



●来所相談

3歳から18歳くらいまでのお子さんについての相談をお受けしています。お子さんと保護者に来所していただき、心理相談員による継続的な相談やプレイセラピーを行います。

問合せ/教育相談所 ☎481-7633

●就学相談

通常の学級における指導では、その能力を十分に伸ばすことが困難で、特別な支援が必要なお子さんに、適切な教育の場を提供するための相談を行っています。

【就学相談(令和7年度入学)のご案内】

令和7年4月入学予定のお子さんの就学相談のお申込みは、令和6年4月から受付予定です。詳細は、市ホームページをご覧ください。

問合せ/教育相談所 ☎481-7634

●電話相談

専門の相談員が、学校生活や子育てに関する相談を匿名でお受けしています。

【受付時間】平日午前9時~午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)

問合せ/教育相談所 ☎481-7777

●教育支援コーディネーターと

スクールソーシャルワーカーへの相談

小学校1年生から中学校3年生までのお子さんに関する学校・家庭での困りごとや気になることについての相談をお受けしています。

問合せ/指導室 ☎481-7718・7719

令和6年度就学援助申請受付 4月からスタート!

希望される方はお忘れなく!

児童・生徒が学校で等しく勉強できるように、経済的に困りの保護者に対して、学用品費などの学校で必要とする費用の一部を援助しています。希望される方は、学務課へ申請の手続きをお願いします。詳細は、市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)にも記載しています。

問合せ/学務課 ☎481-7473

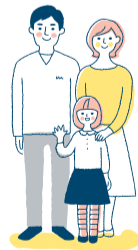


対象者

調布市に居住し、公立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者で、所定の認定要件に該当する方です。申請内容を審査して決定します。

主な認定要件

- いずれか1つに該当する方が対象です。
- 世帯全員の市民税が非課税である。
- 児童扶養手当を受給している。
- 世帯の所得の合計が基準額未満である。



(収入・所得額の目安)

世帯人数	2人	3人	4人	5人
収入例	約275万円	約376万円	約425万円	約534万円
所得例	約184万円	約256万円	約296万円	約383万円

※世帯構成・年齢・家賃月額などにより異なります。

他の要件もありますので、市ホームページをご確認ください。また、学務課へお問い合わせください。

申請の手続き

①お知らせ・申請書の配付

毎年4月上旬に各学校から児童・生徒全員に配付します。その他、学務課で受け取るか、市ホームページからダウンロードすることも可能です。

②必要書類

- 申請書
- 必要な証明書等のコピー(必要な方のみ。申請書の裏面をご確認ください。)



③提出方法

調布市教育委員会学務課へ持参又は郵送

④受付期間

4月分から支給を受ける場合は、令和6年4月30日(火)までに提出してください。この期間以降に申請し、認定となった場合は、申請を受付けた月の翌月分からが支給の対象となりますので、お早めにご提出ください。

援助の内容

- 学用品費
- 校外活動費
- 新入学準備金
- 修学旅行費
- 通学費
- 給食費
- 通学用品費
- 新入学学用品費
- 移動教室費
- 卒業記念品費
- 体育実技用具費
- 医療費

※学年や認定月により受けられる援助の内容や支給金額が異なります。詳細は、4月に配付するお知らせをご確認ください。

【支給金額の例(年額)】

- ・小学校6年生 約11万円
- ・中学校3年生 約12万円

令和6年4月から市立小・中学校12校でコミュニティ・スクールを導入します

令和5年4月に導入した学校に続き、令和6年4月から第二小学校、滝坂小学校、石原小学校、緑ヶ丘小学校、多摩川小学校、杉森小学校、柏野小学校、国領小学校、布田小学校、調布中学校、神代中学校、第七中学校の12校でコミュニティ・スクールを導入します。

※コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の皆さんが責任をもって学校運営に参画する仕組みで、「地域とともにある学校づくり」を推進していくものです。

※コミュニティ・スクールの詳細については、市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)をご覧ください。

問合せ/指導室 ☎481-7480



令和5年度 調布市教育シンポジウム開催

令和6年1月27日(土)、「調布市における効果的な小中連携教育の在り方について」をテーマに教育シンポジウムを開催し、これからの小中連携教育の在り方について考えました。



問合せ/指導室 ☎481-7480